

フィリピンの単一施設における SSPE に対する リバビリン脳室内注入療法の治療成績

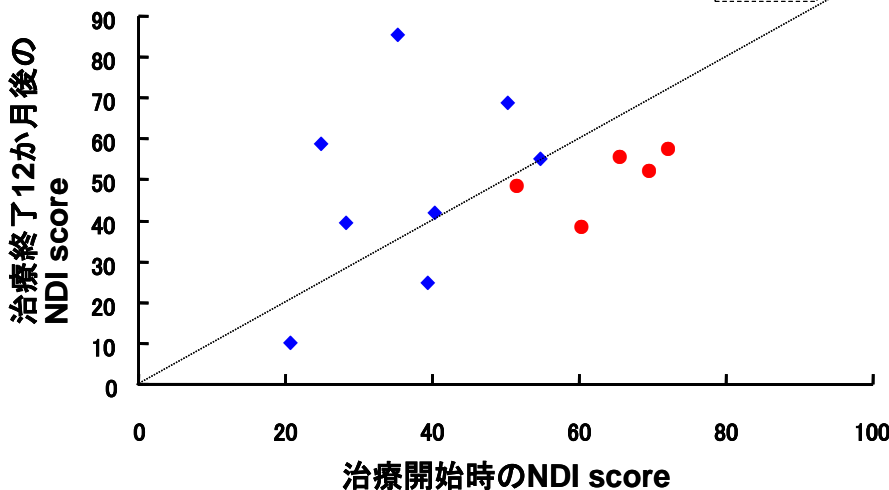
研究分担者： 産業医科大学小児科 楠原浩一

2000～2007年にフィリピン大学小児科で診断されたSSPE患者16名。
(3歳～26歳、男女比:7:9、Jabbour分類:I期1名、II期8名、III期7名)

3～6か月の治療を完了: 13名

治療中断: 3名
リザーバー再留置拒否
肝機能障害
非再診

NDI scoreの推移



改善: 6例 (46%)
不変: 3例 (23%)
悪化: 4例 (30%)

治療開始時の病期と改善率

II期	25% (2/8)
III期	80% (4/5)

解説

1. フィリピンの単一施設においてSSPEに対するリバビリン脳室内注入療法の治療成績を検討した。
2. 治療を完了できた13名のうち、NDI scoreの改善、不変はそれぞれ6名(46%)と3名(23%)であった。これは国内での実施症例の集計と比較して良好な成績であった。
3. 病期別ではII期よりもIII期のほうが改善率が高い傾向がみられた。